

あなたと議会をむすぶ

議会広報

平成24年11月
第132号

あじがさわ

発行…青森県鰹ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鰹ヶ沢町本町209-2 編集…議会広報編集委員会 ☎0173②2111(代)

この広報は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



平成24年度鰹ヶ沢町総合防災訓練が10月13日行われました。写真は、勤労青少年ホーム前で行われた自衛隊による事故車両救助救出訓練の一コマです。

9月議会
定例会号

- 2・3 一般会計5年連続の赤字決算
- 4 9月定例会のあらまし
発電施設を視察
- 5～9 一般質問（5議員）
- 10 まち再生のためにーこの人に聞くー

赤字額は1億3,488万円

22年度より2億8,973万円縮減

平成23年度一般会計決算表

歳出科目		決算額	歳入科目		決算額
議 会 費		8,134万円	町 税		8億0,571万円
総 務 費		7億3,912万円	地方交付税		41億1,045万円
民 生 費		15億6,199万円	県 支 出 金		4億1,800万円
衛 生 費		16億2,431万円	国庫支出金		5億9,546万円
農林水産業費		3億6,347万円	町 債		20億6,160万円
商 工 費		1億0,219万円	そ の 他		5億4,335万円
土 木 費		4億9,727万円	歳 入 合 計		85億3,457万円
消 防 費		3億0,084万円			
教 育 費		6億9,426万円			
公 債 費		22億7,208万円			
そ の 他		4億2,995万円			
歳 出 合 計		86億6,682万円			

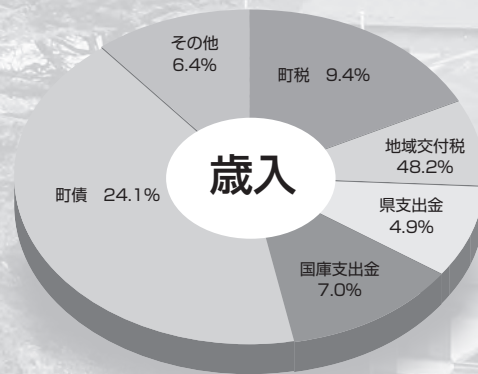
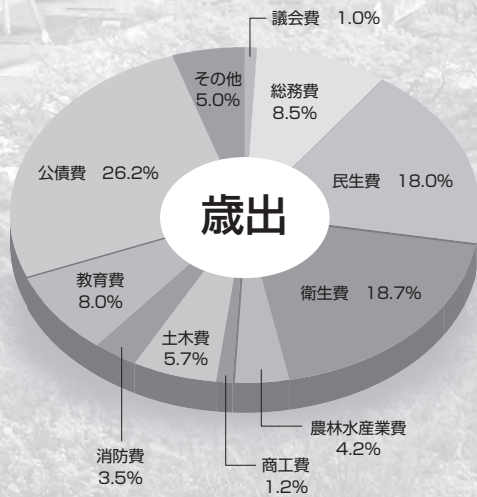
九月定例会では、決算特別委員会において平成二十三年度町一般会計決算が、また、総務常任・産業建設常任委員会においてその他の特別会計、企業会計決算が審議され、最終日の本会議において各会計とも原案どおり全会一致で認定されました。

**23年度
一般会計
決算**

歳入総額

85億3457万円

一般会計の構成割合



鱒ヶ沢町健全化判断比率

健全化判断比率の4つの指標は、いずれの比率も早期健全化基準以下になっています。ただし、③の実質公債比率、④の将来負担比率の数値は、全国的に見ても非常に高い水準となっています。

健全化判断比率	鱒ヶ沢の数値 (%)	早期健全化基準 (%)
①実質赤字比率	2.67	15.00
②連結実質赤字比率	-	20.00
③実質公債費比率	23.9	25.0
④将来負担比率	264.6	350.0

歳出合計

86億6682万円

平成23年度決算を認定

一般会計は5年連続の赤字決算

一般会計・特別会計決算

会計別	歳入	歳出	差し引き	地方債(借金)残高
一般会計	85億3,457万円	86億6,682万円	▲1億3,488万円	122億7,421万円
財政町政基金(町の貯金)9万円				
国民健康保険事業特別会計	19億3,237万円	19億0,769万円	2,468万円	-
簡易水道事業	1億5,318万円	1億4,632万円	686万円	9億7,430万円
農業集落排水事業	1億2,398万円	1億2,342万円	56万円	15億1,470万円
小規模水道事業	434万円	264万円	86万円	2,394万円
公共下水道事業	1億9,545万円	1億9,448万円	97万円	28億2,088万円
介護保険事業	14億8,605万円	14億6,582万円	2,023万円	-
墓地公園事業	59万円	58万円	1万円	-
後期高齢者医療	1億1,682万円	1億1,547万円	135万円	-
水産業振興事業	2,641万円	2,215万円	426万円	-

※単位を万円で表示しているため差引額が一致しない場合があります。

各会計決算

企業会計決算

(単位:万円)	収益的取支			資本的取支		
	事業収益	事業費用	差し引き	資本的取支	資本的支出	差し引き
水道事業	1億8,655万円	1億6,176万円	2,479万円	2,600万円	1億1,559万円	△8,959万円
	地方債残高 11億7,975万円					
中央病院事業	18億5,911万円	15億6,755万円	2億9,156万円	6億2,018万円	6億2,018万円	0
	地方債残高 1,934万円					

五年連続の赤字決算

その要因は

五年連続の赤字決算となった直接の原因は、これまでの累積赤字が多額であるためですが、歳出において※公債費の負担が大きいたくことが要因の一つとして挙げられます。

これは、過去に行った大型建設事業の多額な※起債残高によるものであり、その返済が財政の硬直化を招いています。

ただし、赤字額も徹底した歳出の削減等で減少しており(二十三年単年度では赤字)、二十五年年度決算では赤字が解消となる見込みとなっています。しかし、上表にもあるとおり、依然として鱈ヶ沢町には、極めて多額の借金があり、公債費比率、将来負担比率の水準は、厳しい状況が続くことが予想されます。

公債費の負担が財政を圧迫

います。

当然、起債には、利子も発生することから、他市町村よりも高い水準にある公債費負担を軽減することが先決事項となっています。

※公債費 平たく言えば、借金の返済に係る経費のこと

※起債 借金をすること

※償還 借金を返すこと

町では、後年度の公債費負担を軽減するため繰り上げて起債の※償還を実施し、財政健全化と赤字解消を目指し

平成24年
9月定例会
9月7日～9月14日

各会計決算・補正予算案などを審議 要援護者マップ作成へ

選管委員は指名推選により決定

築を求める意見書

■選挙管理委員会の選挙(指名推選)の結果

選挙管理委員会委員当

●選挙管理委員会委員当

選者

須藤壽氏(再)、戸沼英

哉氏(再)、外崎勝美氏

(再)、吉田照生氏(新)

●選挙管理委員会委員補

充員当選者

第一順位 木村貢氏、第

二順位 豊澤紀講氏、第

三順位 奈良優氏、第四

順位 澤田賢治氏

以上四名は再任。

※指名推選とは

地方公共団体の議会に

おいて選挙が行われる

際、議員に意義がない場

合、特定の候補者をあら

かじめ指定して会議に諮

り、全員の同意によって

その人を当選人とする方

法。ただし、議員の中で

一人でも指名推選の方法

に異議があった場合は、

投票による選挙が行われ

ることになります。

平成二十四年第三回定例会(九月議会)は、九月七日開会の後、十一日には、五名の議員による一般質問、十二日には、総括質疑、各常任委員会、十三日には決算特別委員会、最終日の十四日には、討論・採決が行われ、平成二十三年度一般会計決算、平成二十四年度一般会計補正予算など議案二十六件、報告二件、諮問二件、意見書案一件がいずれも原案どおり全会一致で可決、認定、同意、承認されました。また、最終日には、町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われ、指名推選の結果、委員及び補充員が決定しました。なお、決算関連議案を除く主な議案等は次のとおりです。

主な議案

○一般会計補正予算

・要援護者マップ作製及び管理システム構築事業委託料

四九九万円

・予防接種用(ポリオワクチン)ワクチン委託料

一九八万円

・消防団員救命胴衣購入費

一〇三万円 など

○教育委員の任命

・富田名重氏、川村孝淳氏を再任

○人権擁護委員の推薦

・木村陽子氏、安田富貴氏を再度推薦

□意見書案

○「こころの健康基本法(仮称)」の制定を求める意見書

○地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構

発電施設を視察



能代風力発電所を視察する議員

議員視察研修が、議員十二名全員が参加し、九月十九日に行われました。

今回の研修は、福島原子力発電所の事故により原子力発電所廃止の風潮が高まる中、火力発電所や自然エネルギーによる発電施設の誘致の可能性を探るため行われたもので、一行は、東北電力能代火力発電所、能代風力発電所(東北自然エネルギー開発株式会社)の二か所を視察しました。

能代火力発電所では、はじめに同発電所の庄司所長が「福島原

発の事故により東北管内の電力需給が逼迫しているため、能代火力発電所はフル稼働の状態にある。また、発電量は、東北電力管内の一〇パーセントを占めている」とあいさつ。その後、制御室、タービンなど施設内の設備を見学し、担当職員などから説明を聞きました。

次に一行は、能代風力発電所を視察。担当者から風車はドイツ製で、二十四基あり、一基の発電能力は六〇〇キロワットであることなどの説明を受けました。



世永 富也議員

最終処分場建設にかかる損失の対策は

〈答〉 町の方針を決めて議員に説明〉

町長の報酬減額の期限は

問・町長は、選挙で報酬減額を公約し、当選後はいくらになりますか。

答弁・総務課長

削減額は、任期四年間で一七六〇万円になる見込みです。

問・来年の十二月が改選ですが、もし、町長が変わると、次の町長にも今の給料の額が該当になるのではないですか。十二月の期限をつけなければ次の人に失礼ではないですか。

答弁・総務課長

東條町長の公約の一つに給与の半減があり、特例条例を設けたという経緯があります。今回の新しい町長の考え方によると思いますが、任期が来

年の十二月末ですので、

そのときに必要であれば十二月定例会で条例改正の提案があると思います。

意見・必要であればというのには理解できません。

今の報酬は、一般職よりも低いのです。新町長になった人が、議会に給料を上げてくださいますと提案

できないでしょう。改選後の一月になったら戻すべきと考えます。

職員採用の方針は変わったのか

問・町では二十五年に職員を採用しないと発表していますが、その理由は何なのかお聞かせください。二十四年度採用の際には「ここ数年採用していないので、職員も高齢化が進み、将来の町政運営に支障を来すので、財政難ではあるが、職員の活性化と将来のまちづ

くりのため若い活力を導入する」と言っていた考えは変わったのですか。

答弁・総務課長

昨年度、鯉ヶ沢保育所を引き続き直営で進めるという方針決定を受けて、平均年齢が五十五歳を超えている保育士の若返りを図ることが急務であるため、一般職の採用を見送りました。

また、若い人を登用して職員の活性化を図っていくという考えは変わっておらず、二十六年から若干名ずつではあります

が、一般職の採用を予定しています。

問・昨年度、二人を採用しましたが、採用にならなかった人でも、もう一回役場に挑戦しようとして一生懸命勉強している人もいます。勝手に方針を変えていけば、将来、町を担っていききたいとい

う若い人の心はどうなるのですか。

答弁・町長

以前の町長の答弁でも二十四年度から計画に基づいて職員を採用していきたいと言っています。しかも、保育士採用とは一言も言っていないです。

答弁・総務課長

これまで、保育士を採用するという説明を議員の方へはしておりませんでした。今後は、計画変更に伴って説明の場を設け、進めていきたいと思っています。

最終処分場一千万円追加負担の対策は

問・西海岸衛生処理組合の新一般廃棄物最終処分場の設計業者変更による損失をどうするのか、対策をお聞かせください。

答弁・町長

両町で一千万円出した（実施設計業務の見直し

業務契約のため）という損害については、管理者（西海岸衛生処理組合管理者・吉田深浦町長）と話していますが、管理者は、最終処分場の完成の見通しが立てば、両町で話し合い、議論して決めたいということであり

ます。

問・契約違反（実施設計業務）で、町民に一千万円の負担を強いたことになるのですが、そのときの町の説明では「今やらないと交付金を返納しなければならぬので専決を承認してほしい」ということでした。また、その後には裁判をすると全員協議会で話をしたのではないですか。

答弁・町長

あくまでも裁判は、西海岸衛生処理組合が実施設計業務委託先に対し行うことになりましたが、私としても管理者から当然、その一千万円については、相談があるものと思っております。そのとき管理者が訴訟を起こすとすると、

西海岸衛生処理組合の議会でもそうなると思いませんし、こちらのほうもそれに乗っていくということになると思います。

問・鯉ヶ沢町として管理者の指示を待つのではなくて、町としてどうするのか聞いているのです。

専決処分が町が一千万円負担することに全員協議会で承認しました。それは、我々議員にも責任があります。今後、方針を決めて全員協議会などで説明できませんか。

答弁・町長

衛生処理組合の議会とは別に、町の方針を決めて議員の皆さんに説明します。

※世永議員は、このほかにも次のような質問をしています。

○自衛隊誘致の進捗状況及び可能性は

○鯉ヶ沢保育所の運営計画及び今後の方針は

○水道事業の今後の運営計画と対策について



一戸千代久議員

公共交通の存続のための計画は

問・町では、厳しい財政の中で、この五年間に二〇〇〇万円から二六〇〇万円を弘南バスに助成して路線バスの運行維持に努めていますが、利用者にとって有効に活用されているのかも検証するべきです。これから公共交通の存続のために計画、検討していることがありますか。

答弁・政策推進課長

町内のバス路線は、町民の生活を支えるための移動手段であるという点と、町としてもこれまで確保と利便性向上のためバス事業者である弘南バスと折衝を続けてきました。また、一方で財政支援も行っていきます。しかし、町内のバス路

スクールバスに一般客も乗せることは

〈答〉 地域公共交通会議で協議

線は、利用者の減少、路線削減による利便性の低下、また、それに伴う赤字路線の拡大などで今後、持続的な運営は極めて難しい状況にあるのが実態です。

このため町では、町内におけるバスを中心とした公共交通のあり方について協議、検討するために、近く地域公共交通会議を立ち上げて、来年度内を目標に町の公共交通に関する基本的な考え方あり方について取りまと

めたいと考えています。

問・バスの場合は、料金が低い。一ツ森や深谷から町に来るのであれば往復で二〇〇〇円近くかかる状況です。コミュニティバスや乗り合いバスの事業を実施している町では、距離に関係なく町内どこに乗っても四〇〇円とか二〇〇円とかです。低額の料金で利用できる路線バスの検討をしてほしいと思います。

答弁・政策推進課長

地域公共交通会議の中では、そういう運賃など様々な議論をし、検討したいと思います。

問・たとえば深谷地区では、朝に中学校のスクールバス、小学校のスクールバス、路線バスと、いくらも変わらない時間帯に三台のバスが走っています。このようなことは、我々素人には疑問に感じ

ます。

今、交通網の整備、再編が一つのテーマとなっていますが、スクールバスに一般客を乗せるなどの検討をしていますか。

道路運送法が一部改正されています。

当町のいじめの調査結果は

問・大津中学校のいじめによると思われる自殺が教育現場を揺るがし、学校関係者、子供を持つ保護者に大きな衝撃を与えています。

今年度は、児童生徒指導状況を二学期終了と同時に一期分の報告を受けています。結果は、小学校でのいじめ認知件数が二件、中学校でのいじめ認知件数が二件、中学校での上がってきています。

大津中学校の自殺問題を受けて文科省は、全国の公立小中学校でいじめの実態調査をこれまでの調査のほかに、八月中旬をめどに報告を求めるとしています。

内容は、小学校がからかい、悪口などが一件、いやなことをされたのが一件となっています。中学校は、からかい、悪口などが一件、遊ぶふりをして叩かれたのが一件となっ

ています。また、中学校では金銭、物品強要等も一件発生しました。ただ、いずれも生徒、学校、保護者が一緒に問題解決を行っています。

問・いじめの防止と対策を考えていますか。

答弁・教育課長

いじめの要因を特定することは大変難しく、各学校でも危機感を持って、教育相談の実施や教職員の定期的な情報交換などを行い、問題の未然防止、早期発見、早期対応に努めています。

また、町教育委員会は、昨年度からの独自な取り組みとして、各学校に心のケア相談員を配置して対処しています。意見・いじめの自殺というのは、遺族の方、地域の方、学校関係者も大変なことになるわけです。鯉ヶ沢町からはいじめが出ないよう、いじめを気軽に相談できる体制、また、早期に未然に防げる体制を構築して努力してほしいと思います。



深谷地区。路線バスは貴重な移動手段となっています。



長谷川統一議員

内外の住民に選ばれる町を 〈答〉 地域資源を整理し売り込み

答弁・政策推進課長

鳴沢駅のトイレの設置は

問・鳴沢駅は、先般、老朽化により改築となりました。利用客の大半は、通学の生徒と病院に通う高齢者の方ですが、利用者から以前、駅に付いていたトイレが付いていないという声が聞こえてきます。設置は不可欠であると考えますが、今後、JRへの働きかけ等を町で行う考えはありますか。

答弁・政策推進課長

JRでは、無人駅には衛生面、防犯面などの理由によりトイレを設置しないという方針であり、その代替え措置として列車内にトイレを完備しているということですが、町としては、利用される皆さんにJRの方針に沿って利用していただければと思っています。

問・確かにJRは企業です、その方針もわかりますが、五能線は冬期間になると、かなりの頻

度で列車の遅れがあまり

す。また、改築された駅には、席も三つしかなく待合室も大変手狭になりました。JRでできないということであれば、町として考えることはできないでしょうか。

答弁・政策推進課長

地元の皆さんのご意見、ご提言は十分承知していませんので、今後、ご意見を伺いたいと思います。当面は、今のままでのご利用をお願いしたいと思えます。

ピールするか、どのよう

にセールするかが当町におけるシテイセールスだと思えますが、このことについて町ではどのように考えていますか。

答弁・政策推進課長

シテイセールスは、各市町村の持つ地域資源や地域の魅力を最大限に活用して都市や町のイメージを向上、確立し、定住人口や交流人口の増加、企業誘致の推進などを目指す取り組みです。鱈ヶ沢町としてもこの手法を生かして、町の再生をできないかと考えているところです。

シテイセールの取り組みは

問・今、地方の市町村は、競争の時代に入したと言われており、当町も内外の住民に選ばれる町を目指さなければ生き残っていけない時代になったと思います。

この町をどのようにア

ごとには春はこれ、夏はこ

れという売り方、あるいは、来年度は白神山地の世界自然遺産登録二十周年ですので、一貫して白

神山地を売り込むことな

どが必要になってくると

思います。

具体的な取り組みは、

役場内において総合政策

審議会等で議論してい

きたいと考えています。

問・答弁にもあったよう

に当町においては、先の

オリンピックにたとえる

と金メダルが少なく、銀

メダル、銅メダルがかな

り多い状況で、国別でみ

るとランクが下になって

くるという点が考えられ

ます。

そこで、町外だけでは

なく、町内にも情報を発

信することも必要だと思

いますし、住民を取り組

んでやっていくことによ

り住民が魅力を再発見し

たり誇りを持つたりとい

うこともあると思います。

この情報発信ということ

になると雑誌、CMのほ

かに最近ではインター

ネットの活用も考えられ

ると思いますが、町では

どのように考えていますか。

答弁・政策推進課長

インターネットを使っ

た取り組みも必要になっ

てくると思いますが、要

は人だと思えますので、

今春に首都圏で設立され

たふるさと応援団、今、

一〇〇名ほど登録してい

ただいていますが、外か

ら鱈ヶ沢を応援していた

だく人を増やすことも大

切だと思えます。イン

ターネット、ふるさと応

援団など様々な手法を駆

使し、シテイプロモー

ションを進めていきたい

と思っています。

意見・他市町村も、今躍

起となってシテイセール

スに取り組んでいます。

我が町でもあらゆる資源

を活用し、人、金、物を

呼び込むことを目指して

ほしいと思います。

※長谷川議員は、このほ

かにも次のような質問

をしています。
○社会教育の拡充につい



新築となった鳴沢駅



鶴田 悦子議員

路面の穴の放置について

問・舞戸地区において路面の穴によって自転車に乗った児童、通行中の老婦人が転倒するなどの事故が起きていますが、事故が発生するまで放置した道路管理者は、これらどのように思いますか。施政方針の整合性についても答弁をお願いします。

答弁・建設管財課長

ご質問の箇所は、平成二十二年に舗装工事をした箇所です。しかし、冬期間の凍結により道路が一部へこんで周りが盛り上がり、舗装面が大きくゆがんだ状態でした。この箇所は、舗装面の下からの改良が必要なため、簡易的な穴埋めはしたものの少し時間を要しましたが、今年度改良工事が

公民館はその役割を果たしているか 〈答〉地域の要望があれば支援体制を推進

終わっています。

施政方針では、生活環境の整備、充実というところで、道路の維持補修に努めると謳っており、今後も道路の適正な維持管理に努めていきたいと思っています。

公民館活用の取り組みは

問・公民館は、実生活に即する教育や学術、文化に対する様々な事業を行うことになっています。今、公民館はその役割を果たしていますか。

現在、中央公民館、舞戸公民館は、貸館を主とした公民館の管理等を職員が行っています。赤石、鳴沢、中村公民館は、政策推進課から地域づくりの担当職員が、週一回出向き、地域への支援等を行っています。

問・立派な公民館を造っていないが、それを活用できていないということに対して、教育長はどのように考えていますか。

公民館は、四年前まで職員二人体制で地区のいろいろな要望をくみ上げながら活動をしていました。しかし、配置職員の削減等があり、さらに広い意味で公民館を活用しようということになりましたが、なかなかうまくいかないといいことで、今年から教育委員会の所属になりました。

ただ、現在、公民館を管理しているのは、職員二人、臨時職員二人の四人よりいません。この体制で、五地区の公民館の活動をどのようにしていけばいいかを検討しているところですが、よって、この状況で教

育委員会が各地域に入っているが、それを活用して積極的な活動を行うのは少し無理な状態にあるということ、子供会などすべてのことに関して教育委員会、町全体で考え、そして、活動させていくという方向で行くしか、今のところないのではないかと考えます。

問・町全体でという話ですが、それは具体性に欠けるのではないですか。何から取り組んでいるのですか。

我々の取り組みとしては、広くいろいろな分野に関わり合いを持つということが第一だと思えます。その地域でこういうことをやりたいのだけれども、どうだろうかというときには、教育課も支援していくという体制を推進する。今、現在では、

舞戸地区では、EM菌の散布、また、防災事業として標高を示すピクトグラムを要所に貼り付ける計画をしています。鱈ヶ沢地区でも、防災に推進員の皆さんが力を入れており、地区内では防災意識が非常に高くなっています。

問・地域づくり推進員は、自分たちの町内のまちづくりをすることになっていますが、二人の委員でまちづくりができるものでしょうか。そもそも委員を委嘱した町の意図はどこにあるのですか。元気がふれるまちにするために、どのようなことが行われているのかお聞きします。

地域づくり推進員を委嘱した意図は、お願います。

中村地区では、かかしの里づくりに協力していただきますし、耕作されていない農地をどうするかを検討しているところです。赤石地区は、あかいし溪流まつりに協力しており、まちづくり委員会が手掛けている土産品づくりにも支援しています。

答弁・政策推進課長

地域づくり推進員は、四年前に各地区で行われる様々な地域活動をお手伝いするという目的で、配置したものです。意見・地区二名ですから委員になった人は責任があります。責任を果たせるようがんばっていただきます。



東條 一彦議員

鯨ヶ沢病院の医師確保は

問・鯨ヶ沢病院では、内科、外科は大学病院や県立中央病院からの派遣医師が常勤で診察を行っていますが、眼科や整形外科などの常勤医師がいな

い診療科は、診察予定日にあるにもかかわらず都合により休診になったりなどしています。このようなおことが続くと鯨ヶ沢病院から自然に足が遠のき、病院の運営にも支障を来すと思います。

四月から鯨ヶ沢病院は、広域連合になっていますが、完全移行は、二十六年

建設業者に異業種参入の指導を 〈答〉地域経済安定のために検討〉

まず圧迫してしまうのではないのでしょうか。

そうならないためにも医師の確保は重要であると考えますが、現在、どのような状況なのかお聞かせください。

答弁・鯨ヶ沢病院事務長

現在の常勤医師は、内科一名、外科二名、全部で三名と不足が続いています。特に内科医師が著しく不足していますので、鯨ヶ沢町、つがる西北五広域連合が一緒になって

弘前大学、県病等に内科の常勤医師派遣を強くお願いしています。今後、これらの動きについては強化を進め、強く要望していきます。

また、整形、耳鼻科、眼科の非常勤医師の診療日は、弘前大学医学部各医局からの医師の派遣により週に概ね二、三日程度あります。しかし、派遣

医師が、学会、研修会に参加するときもあります。そのような場合は、代わりの医師が来てくれればいいのですが、残念ながら大学には余裕がないというところで、休診を余儀なくされています。

ただ、休診は早い段階でわかりますので、わかつた時点で患者さんにご迷惑、ご負担をかけることのないように町防災無線での放送、広報での周知、また、病院総合案内で休診状況等の掲示を速やかに行うことを徹底して行っています。

いずれにせよ、医師不足が一番の課題でもありますが、眼科、整形等については、弘前大学医学部に対する医師派遣の要望をさらに進めていきます。

問・平成二十六年から広域連合に完全移行した場合、常勤医師のいる診

療科は、現在の内科、外科のほかにいくつ増える予定ですか。

答弁・鯨ヶ沢病院事務長

医師のトータル的な配置は、現在、広域連合でプランを作成中ですが、現時点で、こうなりますといった内容は、広域連合の会議において進んでいませんので、ご理解をお願いしたいと思います。

建設業者の廃業について

問・近年、国や県発注の公共工事が激減しており、町でも財政難のため公共工

事の予算が減っています。その影響で建設業者が相次いで廃業し、雇用の場が失われています。町では、このような状況をどう思っているのかお聞きます。

答弁・産業振興課長

ご指摘のとおり、この

業種は、公共事業の受注に大きく依存しています。近年の財政状況から各団体の発注が激減しており、以降の回復の見通しも立たないことからやむなく廃業に追い込まれているものと推測されます。

当町においては、赤字を抱えている財政状況で、なかなか事業を発注することはできませんが、町として経営維持や安定に要する資金調達を円滑にするため、特別保証制度による保証料の補給やセーフティネット保証の認定業務を行っています。

問・他の市町村の建設業などは、今までと全く異なる異業種へ進出している事業所もあります。これは、国などからの補助事業として行政の指導のもと進められ、雇用の確保といった面からは非常に大きな成果が出ています。我が町では、このようなアドバイスなどを行っていますか。

答弁・産業振興課長

異業種参入、あるいは

新分野の進出については、専門的な知識を必要とすることから町商工会で定期的に専門家による経営相談会の開催、また、エキスパートバンクを活用した指導助言のほか、経営指導なども常時行っていると聞いています。このようなことから

商工会と情報を共有し、連携しながら異業種参入、新分野進出のモデルとなるようなことができればと思っています。地域経済安定のためにも検討していきたいと思

意見・財政が厳しくなかなか公共工事が発注できないのはわかりますが、事業を廃業するということは、そこで働く人々の生活にすぐに影響することでもあり、税収にも影響すると思います。ただ、予算がないからできないのではなく、町でできる範囲内のあるゆる策を使って廃業しないよう指導していただくことをお願いします。



Profile

網野榮一郎さん

- ・平成13年11月から鱒ヶ沢町商工会会長
- ・網野仕出し店 代表

特集

まち再生のために

Vol.2

この人に聞く

町商工会会長

網野 榮一郎さん

再生のキーワードは原点回帰

お客様との対面販売の精神を忘れずに

前号から特集「まち再生のために」この人に聞く」を掲載しています。今回は第二回目。町商工会会長の網野榮一郎さんにお話を伺いました。聞き手は、長谷川統一広報委員、事務局です。

Q 昨今の景気低迷などで、地域の商店街は大変だと思いませんか。

網野会長・商工会が結成されたのは五十年前ですが、そのときは、地元の商店街も活力がありました。ところが、最近になって外部資本が入ってきたり後継者の問題が出てきたりと地域経済の環境は厳しさを増しています。しかし、こういう時代だからこそ商工会の役割は重要だと思っています。

Q 商工による地元の活性化について考えていることはありますか。

網野会長・機会あるごとに言っていますが、地産地消と言いつけれども、売るときはいいけれども、買うときは油代をかけて

よその安いところで買物をするのではなくて、商工会の会員の皆さん自身が地元で買物をする。四百名近くの会員が利用し合えば、町内でかなりの供給と需要が生まれてくると思います。

Q 独自の事業等は、行っていますか。

網野会長・現在は、単独の事業は行っていませんが、わさおプロジェクトなど、観光協会、町、商工会による共催事業は

行っていきます。最近になって、このままではいけないというところで、三者による会議などを行っており、以前よりも三者の距離が近くなったように感じます。ただ、一方で市町村からの補助を受けていないのは、県内では唯一鱒ヶ沢町だけです。商工会の女性部なども一生懸命活動していますが、なかなか人目につかないのも、それが一つの原因のような気がして、もどかしさを感じています。

Q 商工会の会長さんとしてどのようなことを考えて活動されていますか。

網野会長・サラリーマンや公務員は、普通に仕事をしたいれば給料は入ってきますが、我々商人は、利益が出るように死に物狂いで活路を見出して動いています。商工会が基

本的にそういう気持ちにならないと、会員の皆さんと一緒に歩んではいけません。

商工会と会員の関係は、医者と患者の関係に似ていると思います。何かしらの指導を受けても、身勝手なことをしていれば病気になるてしまいます。商売も同じで、商工会の指導員も店の事業主も双方一体となって未来のために頑張らなければなりません。

Q 最後に再生のキーワードは、何かをお聞かせください。

網野会長・原点に立ち返ることではないでしょうか。我々商人の原点は、お客様との対面販売です。その精神を忘れてはいけません。昨今、一番重要なことを手抜きしているように思えてなりません。私は、いつも「明日も、お客様に選ばれる店になる」と努力しています。これからも、このことを忘れずがんばっていきたいと思います。